

## 「春の七草」の出荷

1月7日は、無病長寿を願い縁起物の野菜を食する人日（じんじつ）の節句で「春の七草」の日といわれています。皆様も「七草粥」を食べたのではないのでしょうか？県内で販売されている「春の七草」は、ほとんどがJA阿蘇産だと思われます。

JA阿蘇小国郷中央支所管内の小国町、南小国町は県内で唯一の産地で、6戸の農家で「春の七草」が栽培されています。

栽培は9月の播種から始まり、12月末の収穫・調整・パック詰め、1月2日から、14万9千パックを目標に県内や九州内を中心に一部大阪まで出荷が行われました。

本年度は、新型コロナウイルスの影響から、調整・パック詰めを行うアルバイト等の確保が難しいことが予測されたため、目標出荷数を抑えたため前年度と比較すると少なくなりました。

毎年、栽培農家と出荷を担当するJA職員は年末年始が非常に忙しい時期となっています。



パック詰め作業の様子



販売パック